

## 1. 最近のニュースや話題から徒然に

東京大学名誉教授で現学習院大学教授の伊藤元重先生が、日経MJに隔週で「戦略を読む」と題した寄稿文を掲載しています。

伊藤教授は平成 29 年 9 月 10 日付で「ネット時代の店舗小売業」と題して論を展開しています。経済学の分野で「何故省エネをするのか」という研究がなされ、その結果が公表されているそうです。被験者には次の 4 つの選択肢から選んでもらっています。

- (1) **金銭的動機**。これは出金を抑え電気代の節約に繋がるというものです。
- (2) **社会的動機**。社会全体の環境対策となるというもので、一種の社会参加です。
- (3) **道徳的動機**。道徳的又は倫理的に正しいと思うこと。「規範は遵守しよう」です。
- (4) **群衆的動機**。皆がしているから私もというもの。付和雷同の言葉がピタシです。

伊藤教授はスターバックスを例に出して、論を進めます。職場や家に仕事や勉強ができる環境が整っていてもスタバに来店して仕事や勉強をするのは「群れる」という習性が人にはあるからだと言っています。

スタバではパソコンを叩いている人、本を読んでいる人など「熱心に何かをしている人」が多くいます。一人で「仕事をする」「勉強する」よりは、同類の人々がいる場所(スタバ)で“作業”する方が「安心する」のです。人は“群れる”のが必然なのでしょう。

更に、ネット社会が進化する中で、スマホ等でいつでもどこでもネットで買い物ができる時代になっていますが、伊藤教授は一方で「人々が快適に過ごせる空間を提供している商業集積が支持を得ている」と続けています。

音楽の世界でもしかり。ネットから安価で聴きたい音楽をダウンロードしても、その一方で好きな歌手のコンサートには高額なチケットを買ってでもいく。この心理についてチケット販売の詐欺事件も横行しています。

この様に、**人々の「群れる」という習性を考慮すれば、あるアイデアで勝ち続けている策の真逆の策に、新たな勝利者となりうるヒントが隠されている可能性もありそうですね。**

## 2. 継続的な繁栄(継栄)を目指して

**「大局を読む(時流を掴む)」ことはとても重要です。**仕事の流れ(本流)をつかんでいないと、日々発生する些細なことに気がとられ、最も重要な案件処理を忘れてしまう可能性も出てきます。私事で恐縮ですが、私は毎朝事務所に出勤した後に、行事予定表を 1 分程度見つけています。手帳もパラパラめくります。

「この日までに〇〇をしておく必要がある」「この件について、今日の△▽時までに□□さんへ連絡をしておこう」「来月の××日にはこんな仕事が入っていたな」などと脳みその中で情報をぐるぐる回転させていきます。時にはポストイットにメモ書きをします。

私はこのようにして「すべきこと」「最優先すべきこと」「職員に指示をしておくべきこと」など、仕事を時間軸で自己点検をします。

**毎日の仕事時間には突発的な依頼が飛び込んでくることがあります。「未来の仕事を今日しておく」習慣を身に付けておかないと毎日冷や汗ものの時間を過ごすことになりかねません。**自分なりのスケジュール管理手法を身に付けたいものです。

## 3. 笑えない話で恐縮です(自嘲ばなし)

私は平成 7 年 4 月に中小企業診断士に登録し 20 余年が過ぎました。私がビジネスで成功しているのかは別として、私の後姿を観て最近では若手の独立診断士も増えてきました。ということで、8 月 23 日に診断士協会の内部研修会で診断士の先生方に向けて話しをする機会を戴きました。以下はその時の話しです。

「先生方は経営者に試算表を作らないとダメですよ。ところで先生方はご自分の月次試算表を作っていますか?」。出席者は 25 名位だったか、誰も手を上げないのです。「経営計画を作成し予実管理をしていきましょう」とも診断士の先生方はきつと言うでしょう。でもこれもやっていないのです。私は H5 年 11 月に開業した時に 5 年計画を作成し、毎年 1 月 1 日に年度予算書を作成しています。

これらからの導き出される教訓です。**人に指示や助言をするのであれば、まずは自分でやっていたら人はずいてこない。**